



エコマネジメント株式会社

2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年3月～2024年2月)

作成日 2023年3月31日
更新日 2024年10月4日

エコマネジメント株式会社

環境経営方針

<基本理念>

今、地球規模での環境保全が求められています。増え続ける産業廃棄物の処理は、深刻な社会問題になっています。また、最終処分場の能力には限界があり、産業廃棄物の発生抑制・有効利用が求められているところです。

エコマネジメント株式会社は、時代の要請に応えるため、産業廃棄物の無害化・減量化・再資源化・飼料化に取り組んでいます。次世代の社会環境を考えた事業を通じて循環型社会の構築に貢献していきます。物を捨てる時代から物を生かす時代へ、、、。私たちは排出事業者に対し絶えずアイデアを提供し、環境改善に大いに寄与したいと考えております。

<行動指針>

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ① 電力の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ② 収集運搬車・重機の燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ③ 受託産業廃棄物の3R（減量、再使用、再生利用）の推進
- ④ 水使用量の削減
- ⑤ 事務用品のグリーン購入
- ⑥ 自社廃棄物の削減
- ⑦ ボランティア活動の推進

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

改定日：2020年9月1日

制定日：2012年9月1日

代表取締役

阪口 宗平

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
エコマネジメント株式会社 代表取締役 阪口 宗平
- (2) 所在地
本社 和歌山県和歌山市新留丁185番地
西浜事業所 和歌山県和歌山市西浜1660番地95
桃山事業所 和歌山県紀の川市桃山町調月字北嶋2822番13
- (3) 環境管理責任者氏名及び連絡先
環境管理責任者 常深 清文 TEL: 073-422-6513
- (4) 事業内容
産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物中間処分業（脱水、中和、破碎、発酵、攪拌、選別）、工場内ピット清掃、飼料製造販売業
- (5) 事業の規模
設立年月日 平成18年3月8日
資本金 1,000万円
売上高（令和4年度、7.6億円）（令和5年度、6.3億円）

	本社	西浜事業所	桃山事業所	合計
従業員	8名	9名	11名	28名
延べ床面積	107㎡	576㎡	1,038㎡	1,720㎡

車両台数	令和4年度		令和5年度	
	車種	台数	台数	台数
8tコンテナ車		4台		4台
10tバキューム車		2台		2台
10tタンク車		1台		1台
10tユニック車		1台		1台
8tユニック車		1台		1台
キャブオーバ車		2台		2台
ショベルローダー		1台		1台
パワーショベル		2台		2台
クランプリフト		1台		1台
フォークリフト		2台		2台
合計		17台		17台

受託産業廃棄物処理量	令和4年度		令和5年度	
	収集運搬量	中間処理量	収集運搬量	中間処理量
収集運搬量	20,705t		12,433t	
中間処理量		2,434t		1,982t

主要設備

名称	台数	能力
フィルターレスF-20型	1台	9m ³ /日
ダイライトタンク	3基	30m ³ /日
破碎機 DN-N-15	2台	4t/日
破袋分別機 MK1105	1台	40t/日
攪拌機	1台	3.47t/日
発酵施設		51t/日

積替え保管（西浜事業所 面積：672.36m²）

名称	保管量	保管品目
積替え保管施設	12.8m ³	燃え殻
〃	45.0m ³	汚泥
〃	4.4m ³	廃油
〃	15.0m ³	廃酸
〃	28.0m ³	廃プラ類
〃	90.75m ³	動植物性残渣

- (6) 事業年度 3月～翌年2月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： エコマネジメント株式会社 本社
 関連事業所： 西浜事業所 桃山事業所
 活動： 産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物中間処分業、特別管理産業廃棄物収集運搬業、工場内ピット清掃、飼料製造販売業

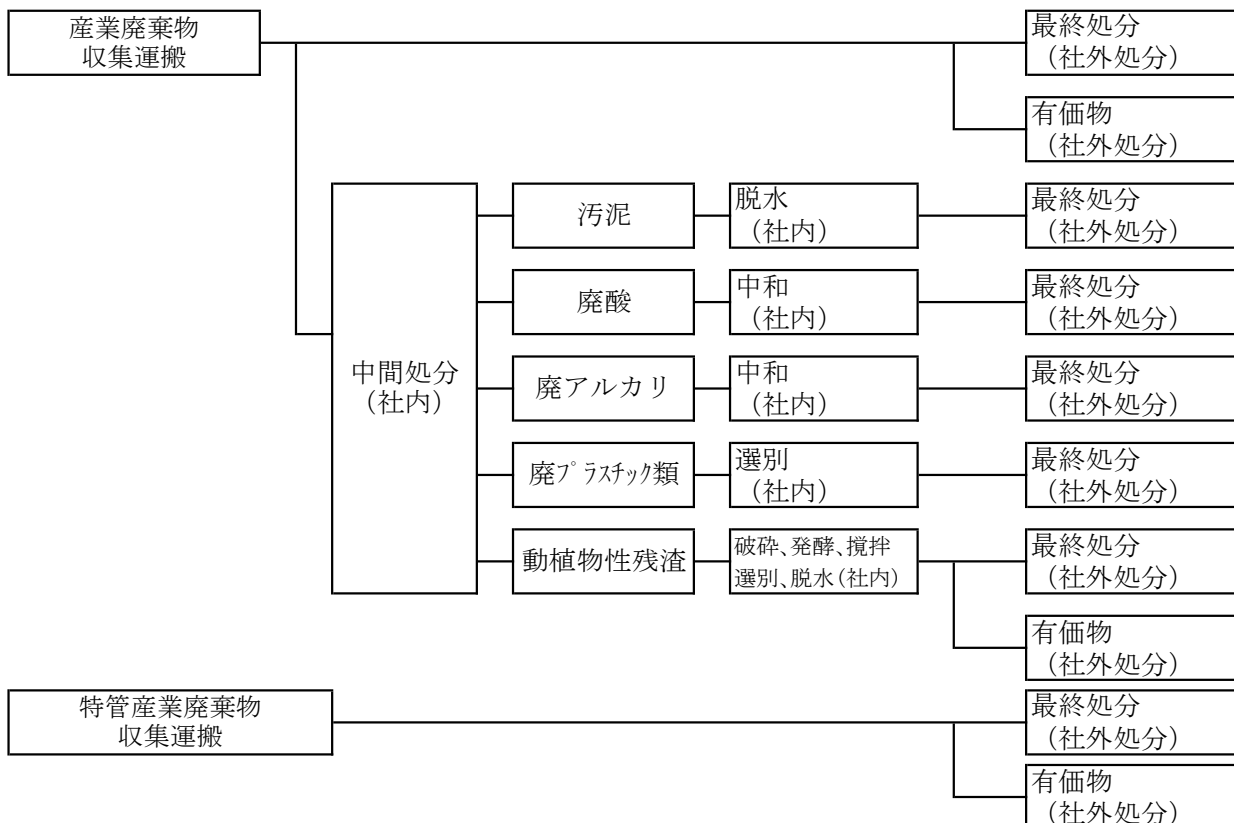
□許可・登録の内容

種類	発行者	許可番号 第・・・号	許可年月日 許可の有効年月日	産業廃棄物の種類													
				燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	動植物性残渣	金属くず	ガラスくず	がれき類	ばいじん	
産業廃棄物 収集運搬業	和歌山県	3000126779	令和 3年 3月28日 令和 8年 3月27日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	和歌山市	7210126779	令和 3年 4月18日 令和 8年 4月17日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	大阪府	2700126779	令和 3年 5月23日 令和 8年 5月22日		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
	兵庫県	2804126779	令和 6年 7月30日 令和11年 7月29日		●	●	●	●				●					
	奈良県	2900126779	令和 4年 6月15日 令和 9年 6月14日	●	●				●	●	●	●	●	●			●
	岡山県	3308126779	令和 3年10月30日 令和 8年10月29日		●	●	●	●					●				
	三重県	2400126779	令和 2年 9月29日 令和 7年 9月28日		●	●	●	●					●	●	●		
産業廃棄物 中間処分量	和歌山市	7220126779	令和 6年 1月15日 令和11年 1月 7日		●		●	●	●			●					
	和歌山県	3021126779	令和 2年 9月 1日 令和 7年 8月 2日									●					
特別管理 産業廃棄物 収集運搬業	和歌山県	3050126779	令和 3年10月29日 令和 8年10月26日			●	●	●									
	大阪府	2750126779	令和 2年 5月22日 令和 7年 5月21日			●	●	●									
	兵庫県	2854126779	令和 6年 9月 2日 令和11年 9月 1日			●	●	●									
	岡山県	3358126779	令和 3年10月30日 令和 8年10月29日			●	●	●									

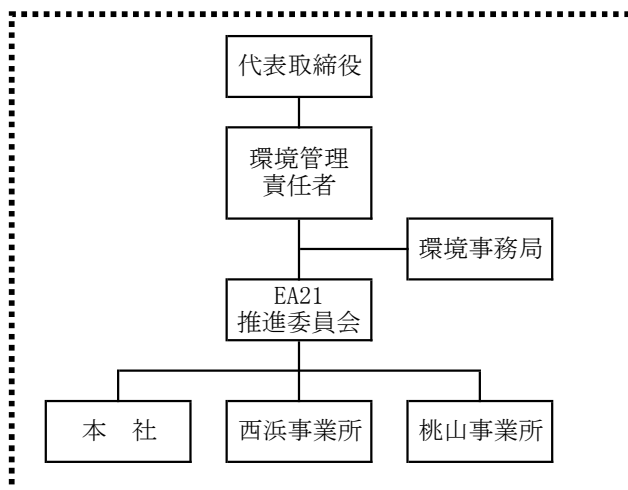
□処理料金

処理料金については引取場所・品目等により異なりますので弊社までお問い合わせください。
電話番号073-422-6513です。

□廃棄物処理フロー



エコマネジメント株式会社 実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標・環境活動計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ票を承認 環境目標・環境活動計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> EA21推進委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境目標、環境活動計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開（事務所備付けと地域事務局への送付）
EA21推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境活動計画の検討 環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 テスト、訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	245,939	227,146	332,601	278,345	252,877
廃棄物排出量	トン	4.7	3.8	3.8	3.7	3.7
一般廃棄物	トン	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
産業廃棄物	トン	3.7	2.8	3.1	2.7	2.7
総排水量	m ³	1,483	1,183	653	531	661

※二酸化炭素排出量は都市ガス（総量の0.2%程度に相当する）を含まない
 二酸化炭素排出係数：関西電力2019調整後 0.318 kg-CO₂/kWh

□環境目標及びその実績

項目	年度	基準値 基準年度	2021年	2022	2023		評価	2024	2025
			実績	実績	目標	実績		目標	目標
・電力のCO2排出 量削減 ・原単位改善	kg-CO ₂	13,345	12,083	13,109		12,729	○		
	基準年度比	2011年	91%	98%		95%			
・ガソリン・軽 油のCO2排出量 削減 ・原単位改善	kWh/t	17.7	14.7	16.9	16.6	20.2	×	16.4	16.2
	基準年度比	2017年	85%	96%	94%	114%			
・ガソリン・軽 油のCO2排出量 削減 ・原単位改善	kg-CO ₂	203,617	320,518	265,236		240,148	×		
	基準年度比	2011年	157%	130%		118%			
・水使用量 削減 ・原単位改善	km/ℓ	3.30	3.45	3.53	3.5	3.6	○	3.53	3.56
	基準年度比	2017年	105%	107%	106%	109%			
上記CO2排出量 の合計	kg-CO ₂	216,962	332,601	278,345		252,877	×		
受託産業廃棄物 の最終処分量の 削減	t	1,248	600	398	1,098	177	○	1,086	1,073
基準年度比	2011年	48%	32%		88%	14%			
自社の産業廃 棄物の削減	t	4.43	3.08	2.70	4.21	2.68	○	4.16	4.12
基準年度比	2018年	70%	61%	95%	60%				
・水使用量 削減 ・原単位改善	m ³	1,360	653	531		661	○		
	基準年度比	2011年	48%	39%		49%			
事務用品のグ リーン購入	m ³ /t	0.92	0.25	0.22	0.86	0.33	○	0.86	85.00
	基準年度比	2017年	27%	24%	93%	36%			
地域社会貢献 (1回/月)	比率	4.0%	51.0%	45.5%	8.4%	52.8%	○	8.8%	9.2%
	基準年度比	2012年	1275%	1138%	210%	1138%			
地域社会貢献 (1回/月)	回/年		12	12	12	12	○	12	12
			100%	100%	100%	100%			

※電力と水使用の原単位は中間処分量トンあたりの※ 目標値がない項目の評価は基準値に対してです

□環境活動の取組と評価および次年度の計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組	達成状況	評価（結果と今後の方向）
電力による二酸化炭素排出量の削減		
・原単位数値目標	未達成	未達成。今後も継続し削減に努めていく。
・不要時の消灯	○	
・未使用機器の電源OFF	○	
・高効率蛍光灯、LDE照明の導入	○	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減		
・原単位数値目標	達成	達成。今後も継続し削減に努めていく。
・エコドライブの励行	○	
・アイドリングストップの励行	○	
・空気圧確認の励行	○	
・配車の合理化による走行距離短縮	○	
受託産業廃棄物の最終処分量の削減		
・数値目標	達成	達成。今後も継続し削減に努めていく。
・分別の細分化	○	
・リサイクル業者の開拓	○	
自社の産業廃棄物の削減		
・数値目標	達成	達成。今後も継続し削減に努めていく。
・引取り方法を工夫する。	○	
・リサイクル業者の開拓	○	
節水		
・原単位数値目標	達成	達成の要因は地下水利用によるところが大きい。水の出しっ放しをしないなど、今後も行動面の向上に努めていく。
・節水シールの貼り付け	○	
・雨水利用による洗車・清掃	○	
・地下水の利用	○	
グリーン購入		
・数値目標	達成	達成出来た。購入時に比べ向上出来ている、今後も継続していく。
・環境ラベル認定等製品を優先使用	○	
社会貢献		
・数値目標	達成	今後も継続していく。
・会社周辺の清掃、養護施設の訪問	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	産業廃棄物および特別管理産業廃棄物の収集運搬・中間処分、産業廃棄物の中間処分、マニフェスト管理及び交付状況等報告書
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路法	車両の大きさ・重量、通行制限
道路交通法	車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者等
和歌山県公害防止条例	粉じん飛散の防止
自動車Nox・PM法	排気ガス規制
大阪府条例(流入車規制)	排気ガス適合車両
自動車リサイクル法	営業用乗用車、トラックを廃棄時に適正処理
オフロード法	オフロード車の特定自主検査の実施
家電リサイクル法	テレビ・エアコン・冷蔵庫などの適正廃棄とリサイクル
フロン排出抑制法	業務用空調機の定期検査、廃棄時の適正処理
毒物及び劇物取締法	苛性ソーダ（水酸化ナトリウム）の適正な貯蔵及び取扱い
消防法	少量危険物貯蔵庫での廃油の適正な貯蔵及び取扱い

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていた。

なお、違反、訴訟等も過去5年間ありません。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

従業員の意識向上により各環境目標は達成状況は向上している。未達成は電力原単位（中間処理量に対する使用電力量）がわるくなり、自動車等燃料使用量が大きく増えている。節電、省資源の意識を徹底して全項目の達成に向けて努力をしていく。

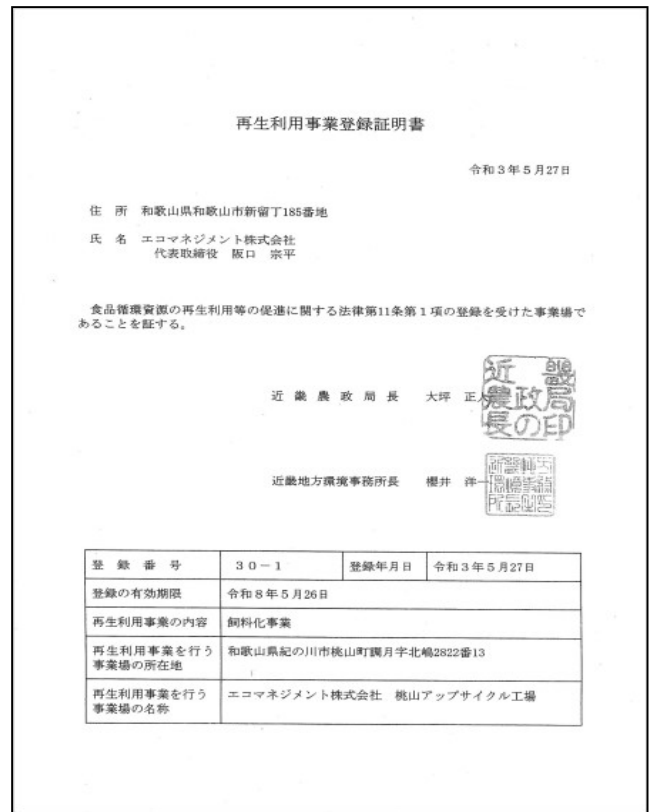
環境経営方針	✓ 変更なし	変更有り
環境目標	✓ 変更なし	変更有り
実施体制	✓ 変更なし	変更有り

エコフィード飼料の製造

工場から排出される植物性残渣を利用し、エコフィード飼料を製造し、県内の畜産農家さんにお届けしております。

食品循環資源再生利用促進法に基づく再生利用事業登録証明書

令和3年5月、近畿農政局及び近畿地方環境事務所から飼料化事業の登録証明を受け取りました。



LED照明への交換



LED照明に交換し、電力の削減に取り組んでいます。

ボランティア活動

会社周辺の清掃はもちろんのこと、ボランティア活動として、毎年、児童養護施設の雑草除去作業をしております。



収集運搬車両の入れ替え（デジタルタコメーター搭載車） 構内使用のフォークリフトを更新



収集運搬車両にエコアクション21ステッカーの貼り付け



次回環境経営活動レポートの発行は、2025年4月を予定